

きたひろしま 議会だより



大朝 八栄神社 初詣

主な内容

一般会計12月補正予算の概要 …… 2	議案審議の結果 …… 7
委員会報告 …… 3～5	一般質問 町政をただす …… 8-15
議会に関する豆知識・千代田高生傍聴 …… 6	表紙の説明 あとがき …… 16

vol.
51
2018.2.1

一般会計 8億1000万円増額
 特別会計 1億4800万円増額

補正 予算

豪雨災害復旧補正予算

5億70万円



昨年の7月発生の豪雨災害における公共土木、農林水産施設の災害復旧予算の12月補正予算が5億70万円に決まりました。

9月からの国による災害現場の査定が終了し、これで復旧補正予算が総額22億2870万円となりました。

復旧工事がこれまで以上に本格化します。

一般会計 その他の主な事業 (万円)

事業名	補正額
バス運行事業費	2,160
自立支援給付事業費	5,700
認定こども園施設型給付費負担金	899
介護保険特別会計繰出金	1,266
多面的機能支払交付金	2,043
農地利用集積事業費	935
町道補修作業委託費	1,270
町道除雪委託費	11,900
河川改良事業費	3,000
民間児童クラブ補助金	215
人事院勧告に伴う給与改定および異動や時間外手当など	2,309

大会遠征費追加

広島県選手権・広島県中学校総体ともに千代田中学校サッカー部は優勝しました。中学校中国駅伝に千代田中学校陸上部は男女で出場し、男子は入賞を果たしました。学校教育の活動に対して、これらの部活動の大会遠征費補助金を35万円増加しました。



35万円

就学援助前倒し補正



昨年度までは小学校入学後に支給していた就学援助金を、平成30年より入学準備にあてられるように入学前に支給することが決まりました。そのため、小学校費扶助費111万2千円を補正。中学校は平成29年度の当初予算の範囲で対応可能です。

111万円

特別会計 主な事業 (万円)

事業名	補正額
《国民健康保険》	
一般・退職被保険者療養費	180
一般被保険者高額療養費	1,700
《介護保険》	
施設介護サービス給付費	7,400
地域密着型介護サービス給付費	2,000
《情報基盤整備事業》	
伝送路保守委託費	969
《その他》	
人事院勧告に伴う給与改定および異動や時間外手当など	△ 164

どんぐり荘に階段昇降機設置 579万円

どんぐり荘は現在、宿泊・研修・入浴施設の改修を行っており、今までなかったエレベーターが設置されることになっていますが、新館側から宿泊施設へ行くためには木製階段があり、この段差を解消するために、階段に車いす用の昇降機を設置するというものです。

この装置は、車いすに乗ったままでボタン操作により階段を行き来することができ、使わないときは階段に沿ってコンパクトに収納されるものを計画しています。

◆予算規模が過去最大に◆

12月補正にて、一般会計は176億3700万円となり、過去最大の予算規模となりました。7月豪雨による災害にて計22億2870万円が必要となったとはいえ、北広島町の規模では140億円弱が妥当な金額。現状はかなり超過している状況といえます。

貯金である「財政調整基金」も合併特例加算の減額等もあり、平成28年度末23億円が14億円へ減少。

今後は、補助金や公共事業の見直しなど、大胆なコストカットも必要となってくると考えられます。



委員会報告

総務常任委員会

平成29年11月15日(水)17日にかけて、総務常任委員会で視察研修へ行ってきました。大変勉強になることも多くあり、北広島町へ活かしていければと考えています。

参加者

総務常任委員会：中田節雄委員長、服部泰征副委員長、森脇誠悟、亀岡純一、梅尾泰文
伊藤久幸議長(11月16日より合流)、事務局職員

11月15日(水)

視察先

鳥取県西伯郡伯耆町

視察内容

伯耆町型バス事業

事業の概要：民間の町内バス撤退による代替として、平成19年より次に掲げる4つのバス事業の一元管理を行い、町営バス事業を運行している。

①スクールバス

小中学生の通学手段の確保が目的。通学の区間内であれば、一般客も利用可能。

②デマンドバス

交通弱者の移動手段の確保が目的。拠点場所以外の乗車は予約が必要。一部予約型運行。

③外出支援サービス

介護サービスもデマンドバスも利用できない者への通院手段の確保が目的。原則週1回までの予約型運行。

④研修バス

スクールバスの空き時間活用による多目的利用が目的(専用車もあり)。小中学校、保育所、社会福祉協議会、老人

伯耆町バス事業料金表 ※一部抜粋

	スクールバス料金	デマンド事業料金	備考
未就学児	無料	無料	保護者等同伴必要
小学生	無料(100円)	100円	()内は町外者利用の場合
中学生	無料(200円)	200円	()内は町外者利用の場合
高校生	200円	200円	通学定期割引有
一般	200円	200円	
障害者等	100円	100円	障害者手帳提示
70歳以上	100円	100円	町発行証明書提示
回数券	100円券(11枚つづり)1,000円 200円券(11枚つづり)2,000円		
その他	行政利用の場合は無料		

クラブ等の各種活動として使用(学校のクラブは利用不可)。

まとめ

一元管理により、連絡先が1か所であること、料金も最大200円で、利用者に優しい事業です。また、スクールバス・デマンドバスの交付金により、町からの持ち出しが非常に少ないのも特徴です。

11月16日(木)

視察先

京都府相楽郡精華町

視察内容

開かれた議会
事業の概要：早くから議会改革に取り組み、会派室の開設や議案書の貸出し、予算決算の常任委員会化等を行っていた。議会基本条例を制定後は、全ての会議の公開、総合計画改定への提言、通年議会の試行・実施、事務事業評価の試行等を進めている。「開かれた議会」の実現のため、次に掲げる4つの柱を実践している。

①町民参加・町民との協働

議会報告会や意見交換会、議員報酬改定提言時での講演会、陳情・請願の参考人招致など。

②情報公開・説明責任

全員協議会・会派代表会議なども原則公開。議会だよりの改善や議会ホームページの活用、本会議・委員会のネット中継など。

③議会権能の発揮

委員会活動を活性化し、策定途上の各種計画や所管事項(議案)にならないものも含む)の調査・現地確認など。

④政策提言・提案

総合計画改定時での提言、町の財源による事業の事務事業評価による申し入れなど。

まとめ

合言葉「まずは一度やってみよう」の精神で積極的に実践されている。



ます。今後も住民との協働の深化、見える化の促進、監視機能の充実、提言機能の育成などに取り組んでいくとのことでした。

11月17日(金)

視察先

京都府京丹後市丹後町

視察内容

ささえ合い交通
事業の概要：バスの利用増を目指し、路線バス会社とも協力して、路線バス・市営バス(デマンドバス)を200円へ。様々な取組により、利用増を達成した。

しかしながらデマンドバスにおいては、事前の予約が必要なことや、2つの地域で分かれる運用による隔日運行の問題があった。その解決策として、公共交通機関によるサービスが確保できない地域を対象とした「公共交通空白地帯有償運送(ささえ合い交通)」を、スマホアプリである「Uber」を利用して開始した。

〇利点

◆経営コストの抑制(自家用車の活用のため車両の購入及び維持費が不要。大規模なシステム導入も不要)◆マンパワーの抑制(ドライバーは自主参加。空き時間を利用できる。また、スマホのGPS機能により走行距離の測定と自動料金計算が可能)◆インバウンド対策ができる(世界でも多くの利用があり、外国語にも対応も可能。)など

まとめ

公共交通空白地帯が対象のため、往路は利用出来るが公共交通がある所からの帰路は利用不可、スマホの操作や、代わりに操作する人が必要、などの課題はありますが、持続可能な交通の手段として注目されています。



文教厚生常任委員会

今年度の文教厚生常任委員会の視察研修は、「子育て」に重点をおいて研修を深めた。役場職員とも学ぶことができ、北広島町ができること、すべきことを共に考えることができた。

参加者

大林正行委員長、山形しのぶ副委員長、敷本弘美、室坂光治、伊藤淳、事務局職員、福祉課職員、保健課職員

10月18日(水)

◎広島県福山市

先進地である広島県福山市の福山版ネウボラを視察した。ネウボラという言葉が多くの子育て世代にも浸透するように、平成29年4月から子育て支援課をネウボラ推進課に課名変更をし、ひろしま版ネウボラ構築モデル事業に参加した。平成29年6月14日にネウボラ相談窓口「あのね」を12か所でスター



トし、子育て世代を支えている。3か月で259

6件の相談があり、子育て世代にとって大切な場になっていることを実感した。

福山市全体が

子育て環境を整

えることを当たり前とし、ネウボラの相談窓口も開設時間が長く、土日も開設しているところもあり安心して子育てができていく様子が実感できた。

10月31日(火)

◎鳥取県南部町

北広島町と同じく少子化が深刻化している南部町の取り組みについて学んだ。平成26年度から子育て支援課を立ち上げ、平成27年から南部町版ネウボラをスタートしていた。年間の運営費は100万円と多くない中でも、妊娠期からパパママ教室や子育て親育ち教室など不安を和らげる取り組みを行っていた。また、各種支援行事参加の動機付けとして、子育て応援ポイントカードを作り、イベントや乳児健診に参加するとポイントがもらえ、



図書カードやおむつなどと交換できるなど、すぐに取り組める政策もありました。パパの参加はポイント2倍と夫婦で子育てをしていく環境づくりにも力を入れていた。

少子化対策を重点課題と位置づけ、工夫ある取り組みに多くのことを学ぶことができた。

11月1日(水)

◎広島県世羅町

世羅町はネウボラを立ち上げてはいないが、平成23年4月に子育て支援課を立ち上げ、子育て支援の充実に向けて取り組みを行っている。地域全体で子育て世代を支える環境づくりとして、平成18年からボランティア団体による「世羅町で子育てを考える会」を立ち上げている。子育て世代が世羅町での子育てを楽しめるように、子育てに優しい場所やお店のマップ作りを行うなど、横の繋がりも感じる政策もあった。また、中・高・大学生が託児ボランティアを行い子育てについて学ぶ機会をつくっている。

ネウボラは立ち上げてはいないが、ほぼネウボラはできているように感じ北広島町でも取り組める見本となる政策も大変多くあった。

委員会報告

産業建設常任委員会

産業建設常任委員会は平成29年11月13日(月)～15日(水)、長野県小諸市の鳥獣被害対策と新潟県長岡市の畦畔管理の省力化について視察研修を行った。

参加者

宮本裕之委員長、湊俊文副委員長、浜田芳晴、美濃孝二、真倉和之、事務局職員、農林課職員

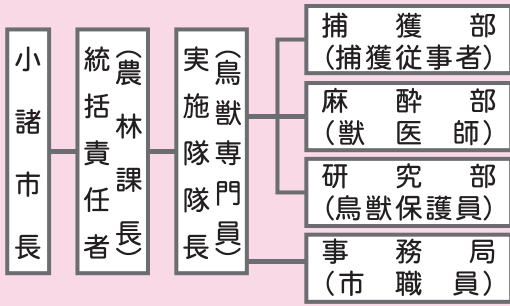
11月13日(月)

◎小諸市における野生鳥獣被害対策の取組み

小諸市役所経済部農林課野生鳥獣専門員の竹下毅氏から「効率的な捕獲事業の取組みについて」説明を受けた。猟友会員の高齢化や捕獲方法に問題点が出てきたので鳥獣対策を行う職員集団が行う必要がある

小諸市野生鳥獣対策実施隊

※総勢約50名体制



ると判断し、平成23年度に市役所一般職員により構成する実施隊を結成した。平成27年度には猟友会への有害鳥獣駆除委託事業を廃止した。現在、実施隊は市職員と嘱託職員(特別職非常勤公務員)から構成されている。

捕獲従事者の身分保証で捕獲意欲が向上し被害額は減少した。事故予防の為に独自の射撃講習会を実施している。捕獲数の少ない時には動物園のライオンの餌にしていたが捕獲数が増え処理しきれない為、焼却処分に移行する。そこで鹿肉の商品化することを発案し、地方創生交付金で解体施設に殺菌の為にオゾン水、金属探知機等を整備した。現在は、解体したブロック肉の9割はペットフードの原料。1割は乾燥させ干しジャーキー製品として販売している。

11月14日(火)

◎JA越後さんとうでの除草剤による畦畔管理の省力化

長岡市の越後さんとう農業協同組合は信濃川の左岸地帯に広がる越後平野の水田単作地帯で、広域な地域条件を生かした画一性に偏らない農業環境づくりを目指している。新潟地方における斑点米カメムシ対策及び除草剤による畦畔管理の省力化について農協及び農薬会社の担当者か

ら説明を受けた。カメムシが好む雑草を草刈機で除草することは高齢化で難しくなり、斑点米カメムシ対策として除草剤を有効的に使用して年間の除草作業を2回で済ませる。

JA越後さんとうでは薬剤の頭文字を取ってC・D・Z作戦と称し降雪前に「土壌処理除草剤・Cの粒剤」を散布、雑草が発生する6月頃「土壌処理除草剤D」と「茎葉処理除草剤Z」の液剤を混用して散布する。

3種除草剤を散布時期と組み合わせでタイミングよく散布すれば夏の暑い時期の除草作業の回数を減らすことが出来る。コスト的にも雑草地10a(1000㎡)分の薬剤費用は、茎葉処理3回で1万3200円に対しC・D・Z作戦では1万1100円、2100円(約16%)のコスト削減になる。



議会に関する豆知識

よく聞かれるQ&A



Q 町議会議員の仕事はどのようなものがある？

A 町議会議員は町民の代表として、町政が正しく運営されているかどうか町の仕事を調査したり、問題点を指摘します。条例の制定・改正・廃止、予算の決定、決算の認定などの議案を審議・採決します。

北広島町では、年に4回の定例会と、他に臨時会などが行われます。各種行事や研修会などにも参加し、議員自ら資質向上を目指しています。

Q 町議会議員の報酬はどのくらいある？

A 月額報酬は22万1000円。報酬より所得税2万7400円が引かれ、19万3600円が報酬となります。その他には期末手当報酬があります。

広島市議会議員の月額報酬は81万7000円。隣の安芸高田市議会議員の月額報酬は32万5000円。北広島町議会議員の月額報酬は県内23市町中19番目となっています。

Q 町議会議員を二期務めると議員共済年金がもらえますか？

A 地方議会議員年金制度は、平成23年6月をもって廃止されています。何年町議会議員として活動しても、議員共済年金を受けとることはありません。

Q 町議会議員以外の仕事をしてもいい？

A 議員としての活動の他に、職業を持つことはできます。北広島町議会議員の中にも様々な職業に就いている議員がいます。ただし、一部兼職することができないものもあります。

Q 政務活動費はどのくらいある？

A 北広島町議会議員には政務活動費は全くありません。議員の活動にかかるとお金は報酬で賄います。

千代田高校の生徒が議会傍聴に！

12月11日(月)12日(火)に広島県立千代田高等学校2年生54名が、身近なところから有権者の大切さを学ぼうと、社会科学の授業の一環として議会傍聴に来てくれました。

傍聴は初めてという生徒がほとんどで、傍聴席に入った瞬間の厳粛な雰囲気を感じ緊張感が高まりました！と、気持ちを話していた生徒の皆さん。学校で行われる生徒総会とは違い、きちんとした設備で構えも立派！と感じたようです。

議会是一般質問中であり、偶然にも千代田高校公営塾についての質問でした。議会の内容を全く知らなかった生徒は、自分たちのことが議会で議論されている



ることに驚き、「千代田高校をより良くしていきたい」と議会でも考えてもらえていることがとても嬉しかった！と、笑顔で話している生徒もいたそうです。

引率の先生からも「教科書からではなく実際に議会を目にすることで、生徒達への伝わりやすさを実感し、充実した授業になった。今後も一年に一回は傍聴の授業を組み入れていきたい。」と、話されていました。

北広島町の今後を担う高校生の皆さんの前向きな活動に、議員もさらに気持ちを引き締める時間になりました。千代田高校の皆さん、今後とも一緒に北広島町の未来を考えていきましょう。

平成29年 第5回臨時会 および 12月定例会 議案審議の結果

審議日程	議案・提案・発議名	全員一致	不一致	結果	不一致 質疑討論	
11月8日 (臨時会)	専決処分の承認を求めることについて（平成29年度北広島町一般会計補正予算(第4号)）	○		可決		
	町長及び副町長の給与の特例に関する条例	○		可決		
	訴えの提起について	○		可決		
12月18日 (定例会)	和解について	○		可決		
	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○		可決		
	一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例	○		可決		
	北広島町豊平総合運動公園設置及び管理条例の一部を改正する条例	○		可決		
	工事請負契約の締結について	○		可決		
	平成 29 年度	一般会計補正予算(第5号)	○		可決	
		国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○		可決	
		下水道事業特別会計補正予算(第3号)	○		可決	
		農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)	○		可決	
		介護保険特別会計補正予算(第3号)	○		可決	
		電気事業特別会計補正予算(第3号)	○		可決	
		診療所特別会計補正予算(第2号)	○		可決	
		情報基盤整備事業特別会計補正予算(第3号)	○		可決	
		後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	○		可決	
水道事業会計補正予算(第2号)		○		可決		
豊平病院事業会計補正予算(第3号)	○		可決			

審議日程	発議	提出者	全員一致	不一致	結果	不一致 質疑討論
11月8日 (臨時会)	在日米軍機の低空飛行による火炎弾「フレア」射出訓練を日本の地上部で行わないよう求める意見書の提出について	北広島町議会 議員 亀岡純一 賛成者 ほか3名	○		可決	
12月18日 (定例会)	請願・陳情	請願陳情者名	全員一致	不一致	結果 上：陳情 下：発議	不一致 質疑討論
	平成30年度理科教育設備整備費等補助金 予算増額計上についてのお願い	公益社団法人 日本理科教育振興協会 会長 大久保 昇	○		採択	
	道路整備に係る補助率等の嵩上げ措置の 継続を求める意見書の提出について	道路整備促進期成同盟会全国 協議会広島県地方協議会 会長 藏田 義雄	○		採択	
	安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替 制労働の改善を求める陳情書	広島県医療労働組合連合会 執行委員長 富永 みち子	○		採択	
	国民健康保険の国庫負担減額調整措置の 廃止を求める陳情書	「軍事費を削って、くらしと福 祉・教育の充実を」 国民大運動広島県実行委員会 代表 八幡 直美	○		採択	
	待機児解消、保育士等の処遇改善のための 財源確保を求める陳情書	「軍事費を削って、くらしと福 祉・教育の充実を」 国民大運動広島県実行委員会 代表 八幡 直美	○		採択	
	平成30年度経営改善普及事業費等補助金 交付要望書	北広島町商工会 会長 砂原 正則	○		採択	

一般質問

15議員が町政をたず

一般質問の順番と質問項目

質問時間30分、質問回数は制限なし。

ページ	質問議員	質問項目	ページ	質問議員	質問項目
8	服部泰征	①北広島町のスポーツ環境を考える ②北広島町における医療・介護・福祉の今後について	12	山形しのぶ	①子どもが外で遊べる公園の設置を ②ネウボラ設置に向けて子育て支援課の立ち上げを
9	湊 俊文	①北広島町の人口動態について ②千代田高校公営塾について	12	宮本裕之	①補助金の見直しと「ゆとりの日条例」の設置を ②若者向けの集合住宅建設で少子化からの脱却を
9	美濃孝二	①燃えるごみ削減のため紙おむつ等の分別回収、再資源化を ②低空飛行への監視体制強化を ③国保税第3回試算も大幅値上げ、暮らし守る手立てを	13	梅尾泰文	①豊平病院の後は ②道の駅・舞ロードの利用状況は
10	敷本弘美	「放課後等デイサービス」施設を北広島町に	13	森脇誠悟	これからの地域公共交通にどう取り組むか
10	伊藤 淳	①地域の若者の繋がりを醸成する環境作りの推進を ②長期的な財政健全化の見通しと計画について	14	室坂光治	①高齢者1人暮らしの対策・対応について問う ②豊平火葬場の運営・整備について問う
11	中田節雄	①第2次行政改革大綱の取り組みについて問う ②高齢者のごみ出し支援と食品ロスの問題について問う	14	真倉和之	①定住対策と子育て支援について聞く ②小学校の道徳教育について聞く
11	大林正行	繁茂し放置された竹林対策と所有者不明の荒地対策は	15	浜田芳晴	①次世代を考える パート21 ②次世代を考える パート22
			15	亀岡純一	人口減少にかかわる諸問題について

服部泰征議員

北広島町のスポーツ環境を考える

千代田運動公園の整備を検討したい



- 問** スポーツは、健全な心身の育成や増進を行う上で大変有意義である。その中心となる総合型地域スポーツクラブが担う役割は。
- 答** 生涯学習課長
子どもから高齢者まで誰もが気軽にスポーツに参加できる環境を整えることで、高齢者の閉じこもり防止や子どもの体力向上を図っている。また地域特有のスポーツ人口の増加を図ることも目的としている。
- 問** 現在の問題点や課題は。
- 答** 生涯学習課長
地域によっては、役員の人数が少なく、運営面が整っていない所もある。
- 問** ドミニカ共和国の事前合宿について、陸上と柔道の練習会場はどうするのか。
- 答** 生涯学習課長
陸上は町外の施設利用を考えている。柔道は町内運動公園内にて練習会場の設置を検討している。オフの日等に交流をしていきたい。
- 問** 未利用の町有地を地域住民の遊び場として使用することは可能か。
- 答** 財政課長
行政財産としての活用が見込めないところは、一時的な利用を認めることができる。ただし、一定のルール作りが必要となる。
- 問** 千代田中央公民館建替えにより、千代田グラウンドはどうなるのか。
- 答** 企画課長
憩いの場とするのでスポーツは難しい。千代田運動公園を利用いただきたい。
- 問** 千代田運動公園は照明が必要。今回を機に、陸上競技の整備と少年サッカー場の芝生化も検討しては。
- 答** 生涯学習課長
財政的に厳しいが、現在千代田グラウンドで活動されている方々が引き続き利用できるよう、千代田運動公園の整備は考えなければならぬと思っている。
- 問** 千代田運動公園整備委員会を立ち上げてみては。
- 答** 生涯学習課長
意見は聞いていくが、委員会の設置は考えていない。

湊 俊文議員

来年4月に開設する千代田高校公営塾について

町として千代田高校公営塾を支援する



問 中山間地の公立高校の存続と学力向上を目指し来年4月千代田高校公営塾運営協議会が千代田高校公営塾を開設する。協議会の概略と塾の運営そして公営塾に拠出される町の補助金について。

答 学校教育課長

地域の活性化の生命線は、高校存続問題である。施策の一つに千代田高校公営塾の支援を検討する。千代田高校公営塾運営協議会は、千代田高校教職員、塾代表者、塾生保護者代表等の10名以内で構成する。補助金額は収入の月謝と同窓会からの寄付等で変わる。拠出先は公営塾運営協議会となる。

問 「家庭教師のトライ」の採用経緯について。

答 学校教育課長

学習塾5社に依頼し、2社応募あり。模擬授業を生徒と教職員で受講後個別指導方式の「家庭教師のトライ」を採用した。

北広島町の人口動態について

問 北広島町の人口動態で社会動態がプラスに転じた。これまで人口増に向け企業に対し定住促進

について町としての具体的な施策を問う。

答 企画課長

企業支援員と企業訪問し企業内に定住促進パンフレットの設置やポスターの掲示していただき、関心のある社員には昼休憩等を利用して出張説明会をした。

問 町職員の町外通勤者に居住の自由はあるが、町内居住のお願いをしているか問う。

答 総務課長

職員採用面接試験の際、町内へ移住する意思の有無を質問している。

問 当町の有効求人倍率7.93倍であるが、町内雇用確保が困難であり、企業の外国人技能実習生が増えている。その割合と諸問題について町としての対応を問う。

答 商工観光課長

平成29年度の技能実習生307人で、そのうちベトナムが226名で大半を占めている。今後も慣習の異なる技能実習生は増加する。企業と情報交換や連携を図り、北広島町民として転入し、生活を快適に暮らさせて研修の効果が上がるよう対応する。

美濃孝二議員

紙おむつ資源化のための検討会の設置を

早急に結論を出して対応したい



問 燃えるゴミの増加は深刻な問題。10%が紙おむつであり、資源化し削減すべきではないか。

答 町民課長

近々先進地を視察し、独自の処理施設の整備について安芸高田市や組合と検討する。

問 きれいセンターでは2介護施設から紙おむつ(年35ト)を分別回収し、境港市の資源化工場で実証実験を行っている。他施設の協力を得れば半分以上を資源化できる。家庭ゴミも分別して持ち込めば無料にしては。

答 町民課長

施設に分別して持ち込んでもらえれば可能。無料化については安芸高田市と検討する。

問 今後について県地域廃棄物対策事業の補助を受け検討会の設置を。

答 町長

研究中の課題であり、早急に結論を出す。「ゴミ分別アプリ」

さんあーる」の普及を。

答 町民課長

印刷物にQRコードを印刷して普及啓発する。

低空飛行への監視体制強化を

問 極東最大の米軍岩国基地になれば北広島町の低空飛行も激増する。全職員が監視員となり住民にも協力を呼びかけよ。また町ホームページに目撃情報入力フォームを。

答 危機管理課長

監視員については検討する。入力フォームについては他市町・県と協議する。

国保税の県単位化で子育て現役世帯を直撃

問 第3回試算で、40歳の夫婦、子供2人、夫の給与収入年約360万円所得200万円、妻所得なし、固定資産税なし、の場合の値上げは。

答 町民課長

年8万1000円。激変緩和でも4万円弱。

敷本弘美議員

北広島町に障がい児利用の放課後等デイサービスを

町としては必要であり前向きに取り組んでいく



問 2012年児童福祉改正法により、「放課後等デイサービス」の制度が施行され5年が過ぎた。療育手帳所持の6歳から18歳までの人数は何人いるか。

答 福祉課長
11月末現在で39人いる。

問 その内「放課後等デイサービス」を利用している人数は何人か。

答 福祉課長
11月末現在で19名いる。
問 19人が北広島町に無いため、町外の「放課後等デイサービス」を利用してきている現状をどのように考えているか。

答 福祉課長
現在町内に「放課後等デイサービス」事業所がないことから、町外の事業所を利用されている状況がある。障がいのあるお子さんやその保護者の負担軽減を計る観点から

も必要であると考えている。

問 「放課後等デイサービス」事業所参入にどのように取り組んできたのか。

答 福祉課長

これまで事業所参入については、機会を捉え、町内の障がい福祉サービスをj行っている社会福祉法人に対して「放課後等デイサービス」事業への参入をお願いしたが実現には至っていない。

問 その後参入への議論はしたのか。

答 福祉課長

ある程度参入に向けての議論はしたと思う。
問 早期実現に向け町長の考えを伺う。

答 町長

町としては必要であり前向きに取り組んでいきたい。

伊藤 淳議員

財政状況は課を越えて話し合っているか

各課の意見は財政課がヒアリングしている



地域の若者の繋がりを醸成する環境作りの推進を

問 北広島町に現在住んでいる若者（概ね25歳から40歳）の力を盛り上げる施策・集う場の創出を考えているか。

答 企画課長

以前は青年会が担っていたが、現在はない。まちづくり拠点の中で取り組みを推進していく。

問 町から若者世代へ町のイベントの案内を送っているか。

答 企画課長

送っていない。

問 中学校卒業時に北広島町に住民票のあった方のうち、現時点でも北広島町に住む方を町は把握しているか。

答 企画課長

住民基本台帳から一人ずつ抜き出すことになる。正確な情報はない。

問 町外に住む北広島町出

身者で、就活中の方には産業フェアの案内を送ることや、盆暮れの帰省に合わせ冊子を配ることやイベントを開催してみてもいい。

答 企画課長

あまり機能していないが「只今倶楽部」がある。また、若者を対象にしたアンケートを行っていく。

長期的な財政健全化の見通しと計画について

問 北広島町の今後の財政の見通しは。

答 財政課長

公債費などが高額で推移し、今後も厳しい状況が続くことになる。このままでは平成32年に基金が底をつく。

問 町職員が財政状況を共有し、課を越えて話し合っているか。

答 財政課長

財政課がヒアリングするのみである。

中田節雄議員

食品ロスの問題について問う

3010運動の推進を広報していく



- 問** 我が国の食料自給率は、カロリーベースで39%であり、多くの食品は外国に依存している。一つの品目にしても、生産・流通・加工・販売・調理と多くの人手と時間と経費をかけて食卓に出されるが、国民一人当たりの食品ロスは、茶碗約一杯のご飯の量に相当している。芸北きれいセンターのゴミの内容調査では約7%が手つかずの食品であったと報告されている。本町における食品ロス削減の取組みを伺う。
- 答 町民課長**
環境省が推進する3010運動、乾杯後30分間は席を立たずに料理を楽しむ。お開き10分前には席に戻り料理を楽しむことをまず役場内で実践し、町広報でもこの運動を啓発していく。
- 問** 学校での食べ残しは、どれくらいあるのか。
- 答 学校教育課長**
食べ残しはほとんどない。
- 問** 調理の特に出る生ゴミの処理方法はどうか。
- 答 学校教育課長**
生ゴミは、主に芸北きれいセンターで処理し、一部エコ活動としてリサイクルしている。
- 問** 一部のエコ活動とは何なのか。
- 答 学校教育課長**
ほんの一部ではあるが、コンポストで処理し、畑の肥料として活用している。
- 問** 生ゴミは焼却効率が悪く、経費が重む。これらへの対応を伺う。
- 答 町民課長**
家庭での生ゴミは「一しぼり運動」を町広報でお願いしている。

大林正行議員

町で竹チッパーを購入し町民や企業に貸出しできないか

導入地域の使用実態などを参考に検討する



- 問** 町内には放置された竹林が散見される。雪で竹が倒れ通行の妨げや事故につながることもある。また、繁茂した竹林は、不法投棄などで景観を損うとともに、有害鳥獣の隠れ家や住処になっている。本町の竹林の実態と対策は。
- 答 農林課長**
住宅の裏山や田畑に隣接した原野、河川や道路に面した場所に放置された竹の繁茂が見受けられる。山林に繁茂した竹の伐採については、「ひろしまの森づくり事業」を活用している。1haあたり50万円から80万円の補助金がでる。
- 問** 邪魔者扱いされている竹もチッパーやパウダーにすれば、土壌改良材や肥料として利用できる。チッパーやパウダーを作るには、竹チッパーや植織機という機械が必要であるが高価である。そこで町で購入し町民や企業に貸出しできないか。
- 答 農林課長**
豊平地域では、地域づくり支援事業でチッパーを導入した経緯がある。それらの使用実態などを参考に検討する。
- 問** 道路沿いなどにカヤや雑木が繁茂した所有者不明の荒地があるが、所有者情報を地元の開示することはできるか。
- 答 財政課長**
位置が特定できれば、本人でなくても地籍図の閲覧ができ所有者を調べることができる。



山形しのぶ議員

子どもが外で遊べる公園の設置を

固定遊具の設置は難しい。既存施設の利用を

問 舞ロードの芝生広場を駐車場として利用していくか。遊具のある公園として活用できないか伺う。

答 商工観光課長

慢性的な駐車場不足のため、土日祝日を中心に駐車場として活用している。固定遊具の設置は考えていないが、バドミントンやボール遊びができる芝生公園として活用している。

問 町民が北広島町の公園でなく、他市町の公園を利用していただくことについて町長の考えを伺う。

答 町長

遊び場創生プランをたて、遊び場づくり案を策定していく。どんぐり村のちびっこ広場は多くの親子連れが利用している。子ども達の生きる力を育む環境づくりに取り組みたい。

ネウボラ設置に向けて子育て支援課の立ち上げを

問 北広島町版ネウボラ設置に向けて、現在どのように進めているのか伺う。

答 福祉課長

子育て世代包括支援センター設置に向け取り組んでいる。
問 子育て支援課の立ち上げについて伺う。

答 福祉課長

新たな課の立ち上げについては現在考えていない。それぞれの組織において連携をはかりながら業務を進める。

問 町長の子育て支援課の立ち上げについて伺う。

答 町長

新しい課を設置し、一つの課で取り組むことは困難と考える。子育て世代包括支援センターがすべての窓口となるように取り組む。

宮本裕之議員

若者向けの集合住宅で少子化からの脱却を

住宅建築費補助金や空き家バンクで対応していく



問 本町の少子化は極めて厳しい現状である。近年の出生数を表に示すが、今後の課題は。

平成 22 年度～平成 28 年度 出生数

	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	合計
芸北	10	7	12	13	8	9	3	62
大朝	16	19	16	9	23	15	11	109
千代田	87	70	77	71	76	73	69	523
豊平	21	15	16	15	16	10	13	106
合計	134	111	121	108	123	107	96	800

答 学校教育課長

少子化の進展は教育にも大きく影響し、とりわけ芸北小学校は、このまま推移すると2024年から複式学級ができる。また加計高校芸北分校も生徒数確保等に影響が出ることが予想される。

問 長野県下条村は地場

産業が少ない村だが、住宅環境の整備により多くの若者を定住させ、子ども的人数も増加している。芸北中学校の解体跡地に若者向けの集合住宅建築の考えはないか。

答 企画課長

若者のニーズに合った住居の提供も必要と考えるが、当面は住宅建築費補助金や空き家バンクでの施策で取り組み、成果を出していきたい。

補助金の見直しと「ゆとりの日条例」の制定を

問 自主財源から補助金が156件、10億5000万円以上支出されているが見直しが必要では。

答 財政課長

平成28年度から補助金の継続・条件付き継続・要検討・廃止の4段階で内容を精査し、見直しを図っている。

梅尾泰文議員

豊平病院の今後は

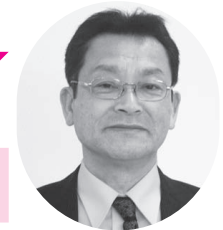


早急に結論を出したい

- 問** 平成28年の4月より豊平病院は医療法人齊和會が指定管理者として経営を行っている。3年間の指定管理料は7億5400万円と聞いているがその根拠は。
- 答 保健課長**
初年度の病床稼働率40%で3億1400万円、今年度は稼働率61%で2億5000万円、来年は稼働率予想73%で1億9000万円と試算している。
- 問** 医業収益は上がっているのか。
- 答 保健課長**
今年度は目標に達していない。
- 問** 医師が確保できないので試算どおりにいかないようであるが決算ではどうか。
- 答 保健課長**
2016年度決算では、医業収益4億8737万円、医業費用6億7321万円で赤字であるが前年度より改善している。
- 問** 指定管理者の期間は3年であり、あと1年少しである。一般会計からの繰り入れも必要な中、今病院として存続するのか、その他の方法を選択するのかの重要な時期に来ているがどう考えているか。
- 答 保健課長**
広島県が2016年3月地域医療構想を策定している。自治体立病院（豊平病院）もこの構想を踏まえ積極的に病床転換や病床削減に取り組むことが求められている。
- 問** 豊平病院へ3年間出向の町職員のその後処遇はどうなるのか。
- 答 保健課長**
病院職員の処遇は指定管理終了後のありようによって検討する。
- 問** 職員の不安を払拭させたい。
- 答 保健課長**
病院のありようを含めて早急に結論を出したい。

森脇誠悟議員

これからの地域公共交通にどう取り組むか



乗継拠点の整備等利用しやすい公共交通にしていく

- 問** 昨年策定された北広島町地域公共交通網形成計画では、住民・民生児童委員アンケート調査等により、本町の公共交通の課題が明らかになった。課題解決に向けた取り組みの進捗状況を問う。
- 答 企画課長**
今年度は、地域公共交通会議において、分科会協議・先進地視察、バス事業者・民生委員との意見交換会等を実施し、再編計画を策定する予定である。来年度は再編計画を基に、実証運行を行いたい。
- 問** 以前から、「ホープタクシーの運賃が高い」との声があるが、値下げをすることを考えるか。
- 答 企画課長**
持続可能な収支バランスを考えると、現行料金は「適正である」と考えている。
- 問** 国道433号線のよりに、生活交通路線の道幅が狭く、豪雨等ですぐ被災し、通行止めや交通
- 問** 制限される道路がある。その都度、地域住民は危険と不便さを感じている。早期の道路改良に向け、どのような努力をされているのか。
- 答 建設課長**
町村会や広島県内陸部振興対策協議会等あらゆる機会を通じて国や県に要望していく。
- 問** 京都府京丹後市を始め、全国で広まりつつあるスマートフォンアプリを利用した「公共交通空白地有償運送」制度（ボランティアドライバーの自家用車を活用した運送サービス）を取り入れる考えはないか。
- 答 企画課長**
本町はデマンドタクシーを運行しているので、公共交通空白地域はないと思っている。しかし、きめ細かな移動の確保の為に、ボランティア運行等もセットにした公共交通の在り方を考えてみたい。



室坂光治議員

高齢者一人暮らしの対策・対応について問う

見守り活動の対応と対策をしていく

問 高齢者一人暮らしの方が年々増加している。高齢者の中には近隣との関わりを持たれない方もおり、孤独死も増えている。安心安全に暮らすため町としてどのような対応をしているか。

答 芸北支所長

民生委員・児童委員・

芸北地区協議会の各活動計画により高齢者住宅家庭の見守り活動を重点項目としている。

答 大朝支所長

民生委員・児童委員・地域の方の情報提供から社会福祉協議会、本庁福祉課及び保健課と連携し高齢者の方が安心安全に暮らせるよう取り組んでいる。

答 豊平支所長

主に民生委員・児童委員の世帯訪問により対応している。近所付き合いがなく民生委員さんが面

会できない等の状況もあるが、高齢者の方が安心して暮らせるよう対応していく。

答 町長

見守りについて色々な団体と連携し協定を結んで活動している。今後は地域福祉という考えも必要になってくる。

問 豊平火葬場の運営整備について、火葬場は昭和50年に建築され、平成9年に建て替えたが老朽化が進んでいる。火葬炉は2基設計だが現在は1基のみ今後の運営について聞く。

答 町民課長

現在本町で火葬運営は全4基。老朽化に伴う緊急的修繕費用の増加。将来的な人口減による利用者数減が見込まれ、平成19年策定の計画の見直しを行い豊平地域の火葬場についても検討する。

真倉和之議員

定住促進と子育て支援を聞く

この町の生活環境の経験を知って頂く



問 長期総合計画で移住定住を促すPRと受入れ態勢を言われているが取り組みと成果を聞く。

答 企画課長

定住の受け入れ態勢はこの町の生活環境を経験していただくお試し住宅の整備空き家バンクの活用が多いことから空き家の改修、家財を整理する補助や移住後の改修等の相談について商工会等との協力体制を構築したい。

問 北広島町保育施設の適正配置は公立保育所の統廃合は避けられない状況にある。私立保育所の施設整備費や運営費に国・県の支援があり、公立保育所は私立保育所に比べ町費が5倍以上かかる。保育施設の民営化へ再編の時期を伺う。

答 福祉課長

各地域で順次説明会を開き、理解を得たうえで

保育施設の適正配置を行なっていきたい。



問 小学校の道徳科教育は平成30年4月から授業が始まる。道徳教育の目標は他の人と共にによりよく生きる基盤を養う事、いじめ、不登校の防止に効果的につなげる事ができないのか聞く。

答 教育長

いじめは時に命を奪う事態におちいる事がある。また不登校は様々な要因がある事から、これらの課題には、ていねいに取り組んでいく。

浜田芳晴議員

次世代を考える パート21



32年完成をめざす

問 きたひろネットを利用した音声告知をするには全戸加入が必要。加入していない家の引き込みは財政面でどれくらいか。予算になるのか。

答 総務課長

1580戸で約1億5000万円。

問 防災無線のない地域は。また終わる地域と年度は。防災面から必要なか。

答 危機管理監

他の方法もあるが必要。ない地域は千代田地域。他の地域は32年3月で終わる。

問 32年までに実行するには財政的にどうか。

答 財政課長

必要なので関係課と協議計画を進める。

答 町長

32年までに完成させる。

問 次世代を考えるパート22 担い手対策係でモデル

ルにしている園芸作物、花の苗、大玉、ミニトマト、ホウレンソウが1億以上の売り上げ。研修制度を利用した青年も数名いる。今回、ホウレンソウのモデル販売を開始したと聞く。この事業は。

答 農林課長

北広島町農業振興、プラン（担い手育成を基軸とした中期5か年計画）の中でモデルとした販売事業。

問 広域農道の事業集荷センター建設の計画書に利用できるのか。

答 町長

早期完成をめざす。

問 次世代につなげるためにも、生活できる事を町民に知らせる必要があると思うが。

答 農林課長

技術部会などを利用して知らせていく。

亀岡純一議員

人口減少にかかわる諸問題について

サービス低下にならないように計画を進める。



問 人口減少問題に対するアプローチは様々な方面から考えられる。今後の人口減少にかかわって検討している火葬場の問題を今後どのように進めるか。

答 町民課長

老朽化に伴う修繕費の増加や、将来的な利用者数減少が見込まれるので、利用者の利便性を考慮しつつ火葬場の再編をして安定した火葬場運営をしていきたい。皆様からいただいた意見や質問を計画策定の参考にしていく。町民の皆様のご理解をいただきながら進めていく。

問 「町が合併してから行政サービスにおいて周辺地域が常に切り捨てられている」「だんだん不便になっていく」という住民感情があると感じる。町としてどう考えているか。

答 町民課長

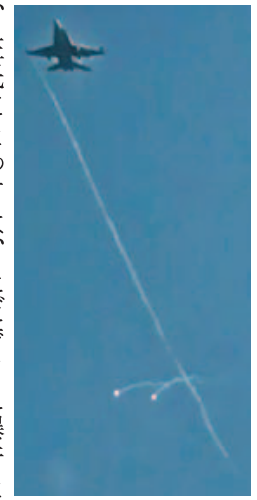
大変重く受け止めていけないといけない。全町的な見直しで皆さまにはご不便をおかけすることもあるが、ご理解をいただく努力をしながらサービス低下にならないように計画を進めていきたい。

答 農林課長

青年農業者の減少を課題として平成23年度から人を育てることを旨とし、長期的視点で継続的かつ着実に実施している。北広島町で農業をやっていること、強い意志をもって来られた方々なので支援する関係機関・関係者と経営する本人と連携して人材の確保と育成に資するため、制度のよりよい運用に努めていきたい。

在日米軍機の低空飛行による火炎弾「フレア」射出訓練を日本の地上部で行わないよう求める意見書

10月11日午後、芸北地域の雄鹿原地区上空で米海兵隊岩国基地の米軍機が、低空で飛来し、火炎弾「フレア」の射出を行いその後、急上昇して旋回するという訓練が、数分間隔で十数回にわたって行われた。これが何



の通告もなく、突然行われたため、住民にとつては、ただでさえ爆音と共に急降下してきて目の前に迫ってくる戦闘機に驚き、恐怖を感じさせられた上に、さらに実弾射撃を思わせるような一瞬眩しく光る正体不明の火の玉が射出されたことに、さらに大きな不安をおぼえるものであった。当地域は、国道186号線が通り診療所や郵便局、民家が点在し近くにはこども園や中学校、高等学校もあり、普段は人々が穏やかに生活している。こういう場所で、上述のような実戦訓練が行われることは、地元住民に与える影響が大きく、容認することができない。

北東アジア情勢が大変緊迫した中、日米安全保障条約のもと北広島町上空で訓練が行われていると考えられるが、「在日米軍は低空飛行訓練を実施する際に安全性を最大限確保する。同時に、在日米軍は低空飛行訓練が日本の地元住民に与える影響を最小限にする。」とした平成11年1月14日の日米合同委員会合意内容に反するものである。

よって本町議会は、町民の平穏な暮らしと安全を守るため、左記のことを米国および米軍に強く求めるよう日本政府に要請する。

記

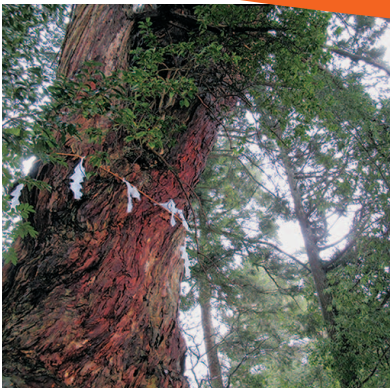
- 1 在日米軍機の低空飛行による火炎弾「フレア」射出訓練を日本の地上部で行わないこと。
 - 2 北広島町上空での米軍機の低空飛行等訓練を行わないこと。
- 以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成29年11月8日

広島県北広島町議会

【提出先】 内閣総理大臣、外務大臣、防衛大臣、総務大臣

表紙の写真



雄ヒノキ

表紙の写真は、元日に撮りました大朝地域岩戸の「八栄神社」です。自然神を始め、誉田別命(ホンダワケノミコト)、素戔男尊(スサノオノミコト)などを祀る祭神が多い珍しい神社です。理由は、旧岩戸村において明治42年と44年に3社を合祀したためです。

表紙の写真の左に映るのは、広島県天然記念物の「大ヒノキ」の雌ヒノキの方です。

「大ヒノキ」は、幹周りが約5.5m、樹高約25mの雄ヒノキ、幹周りが約4.2m、樹高約39mの雌ヒノキの2本からなります。

元日らしい壮麗な雰囲気を感じ出しています。

あとがき

春の訪れを感じるときはどのような時か?という質問をうけることがあった。風が暖かく感じられた時や、つぼみが膨らんでいる桜を見た時など春を想像しながら答えたが、一緒にいた友人は花粉の症状が出始めた時と答えていた。春の訪れを実感するのは人それぞれであり、地域によっても違う。都市部では、新社会人のスーツ姿を見た時、北広島町では山菜など春の味覚が思い出してきた時と答える人もいるかもしれない。四季がある日本だからこそ、季節を感じられることに嬉しさもある。春よこい。早くこい。寒い冬には口ずさんでしまうが、雪に包まれた美しい山々を見ながら北広島町の冬の良さも感じている。

【ご意見や提案の連絡先】
050-5812-1862
(議会事務局まで)

【発行責任者】
議長 伊藤 久幸
【議会広報特別委員会】

- | | |
|------|-------|
| 委員 長 | 亀岡 純一 |
| 副委員長 | 伊藤 淳 |
| 委員 | 敷本 弘美 |
| 委員 | 室坂 光治 |
| 委員 | 服部 泰征 |
| 委員 | 山形しのぶ |
| 委員 | 湊 俊文 |